

美宇は、みう。

～自分らしさと心のバリアフリー～

鳥羽市では、障害福祉や人権学習について関心・理解を深めていただくため、講演会を開催します。本年度は、東京およびパリオリンピックの2大会連続で卓球女子団体銀メダリスト・平野美宇選手の母である平野真理子さんを講師に、オンラインにてご講演いただきます！



講師 平野 真理子 さん

と き 2月15日(土)

午後1時開場

午後1時30分開演

ところ 保健福祉センターひだまり

※オンラインでの講演ですが、保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホールをサテライト会場とします。

入場料 無料

申込方法

オンライン受講を希望するかたは、2月5日(水)までに、市民課(☒ simin@city.toba.lg.jp)へ次の内容(〇件名：鳥羽市人権講演会 〇内容：氏名・年齢・講師へ尋ねたいこと)を記入のうえ、メールで申し込んでください。

後日、返信にて参加案内を送付します。
※サテライト会場へお越しのかたは、事前申込不要です。

●手話通訳有

●託児有：先着4人で申し込みが必要です(満1歳以上未就学児 申込期限：1月31日(金))。

主 催 ●市民課人権・市民交流係 ●鳥羽市障害者互助会

問い合わせ 市民課人権・市民交流係 ☎ 25 1126 FAX 26 4325

人権について考える

わが国においては、現在も多くの人権課題が存在しています。誰もが尊重され、安心して暮らすことができる地域社会づくりのために、一人ひとりが人権課題についての理解を深め、行動していかなくてはなりません。

1948年12月10日、国連総会において「世界人権宣言」が採択され、この日は「人権デー」と定められました。わが国では、12月4日から人権デーまでの1週間を「人権週間」とし、さまざまな人権啓発イベントを実施しています。鳥羽市では、近鉄・JR鳥羽駅周辺・マリンターミナルで「差別をなくす強調月間」街頭啓発を実施しました。人権擁護パンフレットや啓発物品を手に入れたかたもいるのではないのでしょうか。また、この時期には毎年「鳥



Vol.234

教育委員会生涯学習課
☎ 25 1268

羽市小中学校人権フォーラムが実施されています。そのねらいは次のとおりです。
○自分たちの身近にある差別の現実気づき、差別と向き合い、それを乗り越えていくこととする意欲と態度を育てる。

○学校を超えた豊かな出会いや学びの場と位置づけ、参加者が学習したことやそれぞれの思いを出し合うことで、人権・部落問題学習に対する認識を深め、感性や実践力の育成をめざす。

学校で子どもたちが人権作文を書き、人権フォーラム担当者会議で選んだ作文をもとに意見交流を行いました。作文の内容は仲間のこと、いじめのこと、共生のこと、社会にある差別のことなどさまざまです。自分の体験や思いを重ね合わせ、自分たちの生活や身の回りの社会を少しでも良くしていくこととする姿を見ることができました。フォーラムの後、気づきや学びをそれぞれの学校に持ち帰り、還流していきます。人権意識は家庭や地域にも広がっていくことでしょう。新しい年も、人権文化の花が咲きますように。